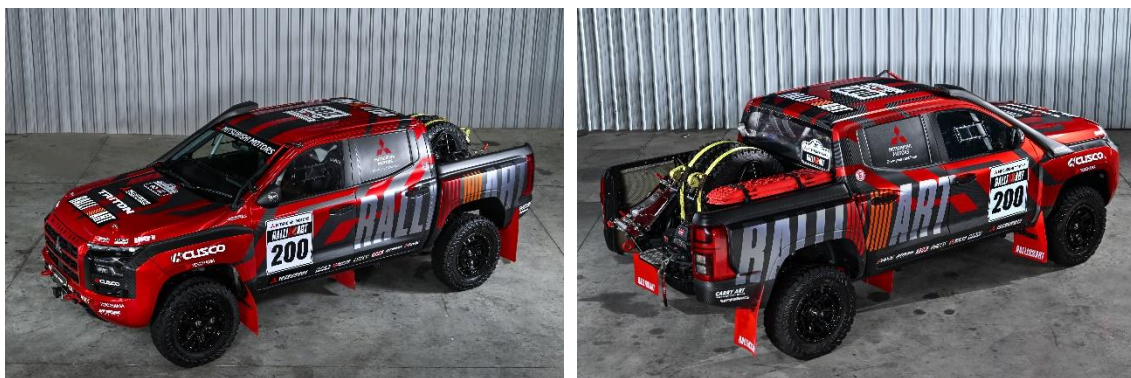


**チーム三菱ラリーアート、ピックアップトラック『トライトン』でアジアクロスカントリーラリー2025 に参戦
～本日開幕する第 46 回バンコク国際モーターショーで参戦車両を発表～**

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）が技術支援するチーム三菱ラリーアートは、本年 8 月にタイ～カンボジアで開催されるアジアクロスカントリーラリー（以下、AXCR）2025 にピックアップトラック『トライトン』で参戦します。本日より開幕する第 46 回バンコク国際モーターショーにおいて、新カラーリングを纏った『トライトン』の参戦車両（改造クロスカントリー車両＝T1 仕様）を発表。エンジンの耐久性向上を中心とした改良を施し、2022 年大会以来 3 年ぶりの王座奪還を目指します。



2025 年参戦車両

チーム三菱ラリーアートは 2024 年、排気量の大きなライバルに対抗すべく動力性能を強化して悪路走破性にも磨きをかけた『トライトン』の 4 台体制で臨みました。エースドライバーのチャヤポン・ヨーター選手（国籍：タイ）が 6 日間の競技のうち後半戦初日となる LEG4 で総合首位に浮上して 2 位以下に 20 分以上の大差をつけるも、エンジントラブルにより無念のリタイアを喫しました。AXCR は近年、6 日間の約 2,000km で競われてきましたが、30 回目となる 2025 年大会では 8 日間の約 2,500km と過酷さが増しており、今回の『トライトン』はエンジンの耐久性向上のほか、足回りなど各部の熟成を図ってポテンシャルをいっそう高め、万全の状態での臨みます。

本日、第 46 回バンコク国際モーターショーにおいて、AXCR の 2025 年大会に参戦する新しいカラーリングの『トライトン』を公開。チーム三菱ラリーアートのアイデンティティであるエネルギッシュなレッドカラーによる、巻き上がる土埃をイメージしたデジタルサンドストームのグラフィックを車体前方から中央にかけて配し、ボディサイドにはラリーアートロゴを大胆にレイアウトすることで、三菱自動車のモータースポーツにかける情熱を表現しました。

チーム三菱ラリーアート総監督 増岡浩のコメント

「昨年は動力性能を大幅に強化した『トライトン』が、排気量が大きいライバル車と伍して戦うことができ、後半戦初日には大差をつけて総合首位に浮上しました。残念ながらトラブルにより戦列を去ることになりましたが、総合優勝するだけのポテンシャルを確認できました。30 回目の記念大会となり、日数、距離ともに過酷さを増す今年は、優れたポテンシャルを最後まで維持できるよう耐久性をいっそう強化して臨み、3 年ぶりの総合優勝を勝ち取りたいと思います」

大会概要

AXCR はアセアン最大規模のクロスカントリーラリーです。開催 30 回目の節目を迎える今年はタイとカンボジアにエリアを拡大し、8 月 8 日（金）にタイ湾の東海岸に位置し、有数の観光地であるパタヤでのセレモニアルスタートによって開幕します。翌 9 日（土）から本格的な競技がスタートし、一度タイ国内をナコーンラチャシマまで北上した後、チャンタブリまで南下、14 日（木）にカンボジアに入国し、16 日（土）にカンボジアの首都プノンペンでゴールを迎えます。コースは山岳部、密林地帯、川渡りなど変化に富み、総走行距離は昨年から約 500km 延長された約 2,500km となったことで、走破性に加え、高い耐久性が問われます。

以上